

プログラム

プログラム

第1日目

プログラム

第2日目

プログラム

ポスター

第1日目 7月13日(木)

第1会場 コングレスクエア日本橋 2F ホールB

シンポジウム1

9:00 ~ 10:20

創傷外科医の新しいワークスタイル

司会：市岡 滋 (埼玉医科大学医学部 形成外科・美容外科)

SY1-1 足の専門病院での形成外科医の新しいワークスタイル
～診療と病院経営の両立と下肢救済だけじゃない足病医～

菊池 守 (下北沢病院)

SY1-2 米国足病医学に基づいた足病と歩行の診療

村井 峻悟 (足と歩行の診療所 荻窪)

SY1-3 遠隔での在宅医療支援という働き方

松本 健吾 (社会医療法人敬和会 大分岡病院 創傷ケアセンター)

SY1-4 創傷瘢痕治療に特化したクリニック経営

村松 英之 (きずときずあとのクリニック豊洲院 銀座院)

SY1-5 創傷に特化した訪問診療所という選択肢

木下 幹雄 (医療法人社団心愛会 TOWN訪問診療所)

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社

教育講演1

10:25 ~ 11:25

創傷治療における亜鉛の重要性

司会：島田 賢一 (金沢医科大学 形成外科学)

EL1-1 ヒト疾患とモデル動物から究明する亜鉛の重要性：
なぜ亜鉛が皮膚器官系の維持に必要なのか？

深田 俊幸 (徳島文理大学薬学部 先端医療薬学コース 病態分子薬理学研究室)

EL1-2 亜鉛に注目した包括的高度慢性下肢虚血バイパス患者における臨床成績

児玉 章朗 (愛知医科大学 血管外科)

共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディセオ

特別講演1

11:30 ~ 12:30

司会：多久嶋 亮彦 (杏林大学医学部 形成外科)

SL1 絵を読むー読み間違いを避けるには

中野 京子 (作家、独文学者)

■ ランチョンセミナー1

12:40 ~ 13:40

局所陰圧閉鎖療法 昨日、今日、明日

座長：波利井 清紀（杏林大学医学部 形成外科・美容外科学）

LS1-1 Is Negative Pressure Wound Therapy with Instillation the Future of NPWT?

Chris Lessing, Ph.D. (3M Global Leader, Scientific Intelligence)

LS1-2 本邦ならではのNPWT治療の“これまで”と“これから”

榊原 俊介（神戸大学大学院医学研究科 形成外科学）

共催：スリーエム ジャパン株式会社

■ 総会

13:50 ~ 14:20

■ 学術奨励賞受賞者講演

14:20 ~ 14:35

司会：久保 盾貴（大阪大学 医学部 形成外科）

確定的放射線皮膚障害を予防するための脂肪組織由来プロダクトの注入効果

素輪 善弘（自治医科大学 形成外科）

■ 優秀論文者講演（英文）

14:35 ~ 15:05

司会：貴志 和生（慶應義塾大学 医学部 形成外科）

Anterolateral Partial Sternotomy with Trans-Thoracic Latissimus Dorsi Muscle Flap for Mediastinal Reconstruction in Aortic Graft Infection

北野 大希（神戸大学医学部附属病院 形成外科）

Efficacy of an Intrathecal Drug Delivery System in Controlling Pain Caused by Skin Defect in Fournier's Gangrene

久場 良吾（ろかい在宅クリニック）

第16回日本創傷外科学会教育セミナー2023

15:20～17:00

司会：赤松 順（医療法人近森会 近森病院 形成外科）

1. 褥瘡治療の実際

河原崎 彩子（京都府立医科大学 形成外科）

2. 慢性創傷の評価と治療

相原 有希子（筑波大学附属病院 形成外科）

3. 顔面の外科的治療に必要な解剖

橋川 和信（名古屋大学 形成外科）

4. 胸郭の形成・美容手術に必要な技術と知識

永竿 智久（香川大学 形成外科）

5. 癍痕・ケロイドの形成機序と治療

小川 令（日本医科大学付属病院 形成外科）

日本創傷外科学会専門医試験

17:30～18:10

第1日目 7月13日(木)

第2会場 コングレスクエア日本橋 3F ホールD

シンポジウム2

9:00 ~ 10:20

NPWTを利用した開放性骨折の治療

司会：工藤 俊哉（新百合ヶ丘総合病院 外傷再建センター／福島県立医科大学 外傷学講座）

藤岡 正樹（国立病院機構長崎医療センター 形成外科／国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 機能形態研究部）

SY2-1 NPWTを「利用した」開放骨折治療の過去と現在とピットフォール

工藤 俊哉（新百合ヶ丘総合病院 外傷再建センター／福島県立医科大学 外傷学講座）

SY2-2 重度四肢外傷におけるNPWTの役割

四宮 陸雄（広島大学 四肢外傷再建学）

SY2-3 GustiloIII型四肢開放骨折に対する陰圧閉鎖療法

根本 充（北里大学医学部 形成外科・美容外科学）

SY2-4 当院における下腿開放創に対する遊離皮弁再建の経験

兵藤 伊久夫（産業医科大学病院 形成外科）

SY2-5 GA3BC型骨折に対しては2nd-look Fix & Flap surgeryまでの待機期間は持続洗浄療法が安全である

藤岡 正樹（国立病院機構長崎医療センター 形成外科／国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 機能形態研究部）

教育講演2

10:25 ~ 11:25

クリティカルコロナイゼーション処理の基本とピットフォール
Amputationの適応と方法

司会：田中 里佳（順天堂大学 形成外科学講座）

EL2-1 クリティカルコロナイゼーション処理の基本とピットフォール

寺部 雄太（春日部中央総合病院 下肢救済センター）

EL2-2 大切断を行った、CLTIを有する患者に関する検討

森重 侑樹（順天堂大学大学院 医学研究科 再生医学／杏林大学医学部付属病院 形成外科・美容外科）

共催：ビー・ブラウンエースクラブ株式会社

■ ランチョンセミナー2

12:40～13:40

間質血管細胞群（SVF）を用いた再生医療の実際と展望

座長：関堂 充（筑波大学 医学医療系 形成外科）

LS2-1 末梢血管病の重度虚血肢に対するSVFを用いた血管新生療法への期待

佐々木 健一郎（久留米大学 医学部 心臓・血管内科）

LS2-2 SVF（皮下脂肪組織由来再生幹細胞）を用いた再生医療の導入と展望

力丸 英明（久留米大学 医学部 形成外科・顎顔面外科）

共催：株式会社バイオマスター

■ 優秀論文者講演（和文）

14:20～15:05

司会：副島 一孝（日本大学 医学部 形成外科学系形成外科学分野）

今後の治療薬開発に向けたケロイドモデルの作製とその意義

西川 侑輝（近畿大学病院 形成外科）

4年前の電子線照射が肥厚性瘢痕の発生を予防したと考えられる1例

米沢 みなみ（厚生連高岡病院 形成外科）

■ パネルディスカッション1

15:20～16:50

静脈鬱滞性潰瘍の治療プロトコール

司会：孟 真（横浜南共済病院 心臓血管外科）

八巻 隆（東京女子医科大学附属足立医療センター 形成外科）

PD1-1 静脈うっ滞性病変の特徴とその治療

星野 祐二（福岡山王病院 血管外科）

PD1-2 静脈うっ滞性潰瘍の治療：圧迫療法の重要性和静脈圧迫処置保険算定の実際

孟 真（横浜南共済病院 心臓血管外科）

PD1-3 一次性下肢静脈瘤CEAP C6症例の解剖学的部位診断およびその治療成績

八巻 隆（東京女子医科大学附属足立医療センター 形成外科）

PD1-4 静脈うっ滞性潰瘍治療における硬化療法の役割

広川 雅之（お茶の水血管外科クリニック）

PD1-5 下肢救済センターで管理する静脈鬱滞性潰瘍

寺部 雄太 (春日部中央総合病院 循環器科 下肢救済センター)

PD1-6 micro-arteriovenous fistula (micro-AVF) による下腿静脈性潰瘍に対する治療戦略の検討

緒方 英之 (千葉大学医学部 形成外科)

共催：グンゼメディカル株式会社

第1日目 7月13日(木)

第3会場 コングレスクエア日本橋 2F ホールA

■ 一般演題 1

9:00 ~ 9:40

重症下肢虚血

座長：相原 有希子 (筑波大学 医学医療系 形成外科)

OR1-1 COVID-19罹患後に下肢急性動脈閉塞をきたした一例

高木 萌伊 (自治医科大学附属さいたま医療センター 形成外科)

OR1-2 Distal bypassをrecipientとした遊離筋皮弁術後にグラフト血管閉塞をきたしたCLTI患者の治療経験

今石 紗織 (旭川医科大学病院 形成外科)

OR1-3 包括的高度慢性下肢虚血の断端形成において spare parts surgery を用いて治療を行った症例について

長谷川 泰子 (群馬大学大学院 医学系研究科 口腔顎顔面外科講座・形成外科学講座)

OR1-4 重症虚血肢の足潰瘍に対するレオカーナ®の使用経験

須貝 明日香 (函館五稜郭病院 形成外科)

OR1-5 包括的高度慢性下肢虚血による難治性下肢潰瘍に対するOASIS®細胞外マトリックスの使用経験

加戸 友香理 (川崎医科大学総合医療センター 形成外科)

■ 一般演題 2

9:40 ~ 10:20

瘢痕・ケロイド

座長：坂本 道治 (京都大学大学院医学研究科 形成外科学)

OR2-1 乳癌術後放射線治療後に腕神経叢麻痺を来した3例

河合 恵 (大阪警察病院 形成外科)

OR2-2 局所陰圧閉鎖療法によって救済した穿通枝皮弁の1例

佐藤 弘樹 (埼玉医科大学病院)

OR2-3 遊離腹直筋皮弁採取部の閉創法に関する検討

北野 大希 (神戸大学大学院医学研究科 形成外科学/淀川キリスト教病院 形成外科・小児形成外科)

OR2-4 腹腔鏡下手術後の臍部ケロイド・肥厚性瘢痕の治療戦略
— 瘢痕内部分切除 + 術後ステロイド局所注射 —

村尾 尚規 (国家公務員共済組合連合会 斗南病院 形成外科/北海道大学大学院 医学研究科 形成外科学講座)

OR2-5 耳介ケロイドの治療戦略

前田 拓 (北海道大学大学院医学研究科 形成外科学教室)

■ ブランチセミナー

10:25 ~ 11:25

難治性潰瘍に於けるパラダイムシフト

座長：古川 雅英 (医療法人 敬和会 大分岡病院)

BS-1 多角的視点から見たEPIFIX
 ~患者視点と医師視点、そして経営の視点~

菊池 守 (医療法人社団 青泉会 下北沢病院)

BS-2 難治性潰瘍治療新戦略－EPIFIXの臨床評価とチーム医療

古川 雅英 (医療法人 敬和会 大分岡病院)

共催：グンゼメディカル株式会社

■ ランチョンセミナー3

12:40 ~ 13:40

座長：松村 一 (東京医科大学医学部 形成外科)

LS3 RECELL：製品開発の歴史、臨床エビデンス、次世代デバイスの開発

Lorraine Glover (AVITA Medical)

共催：コスモテック株式会社

■ スイーツセミナー

14:20 ~ 15:20

**進化するWound Hygiene (創傷衛生)
 ~海外での活用実践例と、新たなフレームワークの紹介~**

座長：田中 里佳 (順天堂大学大学院医学研究科 再生医学/医学部 形成外科学講座)

SS-1 Implementation of Wound Hygiene in clinical practice:
 The European experience

Rachel Torkington-Stokes (Global Medical Affairs, Advanced Wound Care Convatec)

SS-2 進化する難治性創傷治療とWound Hygiene

佐藤 智也 (埼玉医科大学 医学部 形成外科・美容外科)

共催：コンバテック ジャパン株式会社

■ 国際委員会企画 国際セッション：International Session 15:30 ~ 17:00**Wound Surgery Initiatives in Asian Countries :
 アジア各国の創傷外科の取り組み**

司会：田中 里佳 (順天堂大学医学部附属 順天堂医院 形成外科)

藤井 美樹 (順天堂大学医学部附属 順天堂医院 形成外科)

IS-1 Future of Microsurgery; Diabetic Limb Salvage or Robotic Prosthesis

Hyunsuk Peter Suh

(Assistant Professor of Department of Plastic Surgery, Asan Medical Center, Seoul)

- IS-2 **Diabetic Limb Salvage that is led by an Orthopaedic Surgeon: the story of how a dream team is built with Plastic Surgeons and Allied Health Professionals**
Francis Wong Keng Lin
(Consultant, Orthopaedic Surgeon, Sengkang General Hospital, SingHealth / Assistant Professor, Duke-NUS Graduate Medical School / Clinical Lecturer, Yong Loo Lin School of Medicine / Honorary Senior Lecturer, Cardiff University)
- IS-3 **Evaluating noninvasive analysis of keloid by radiopharmaceuticals with nuclear medicine imaging**
Yu-Hsiu Yen
(Division of Plastic Surgery, Department of Surgery, Cathay General Hospital; School of Medicine, Fu Jen Catholic University)
- IS-4 **Deep Learning-based Method for Survival Prediction using Wound Images of Pressure Ulcers**
Jeong Yeop Ryu
(Department of Plastic and Reconstructive Surgery, School of Medicine, Kyungpook National University, Daegu, Korea)

■ イブニングセミナー

17:10 ~ 18:10

細胞外マトリックス (ECM) で創傷治癒を促す！ ～創傷治癒におけるOASIS®のメカニズムから臨床応用まで～

座長：田中 里佳 (順天堂大学大学院医学研究科 再生医学／順天堂大学医学部 形成外科学講座／順天堂医院 足の疾患センター)

- ES-1 **Extracellular Matrix: The Cellular Ikigai for Wound Healing**
Michael Hiles, PhD
(Senior Vice President and Chief Scientific Officer, Cook Biotech, Inc. Adjunct Professor of Biomedical Engineering, Purdue University, Adjunct Professor of Basic Medical Sciences, Purdue University College of Veterinary Medicine, U.S.A.)
- ES-2 **A NEW RUNG IN THE RECONSTRUCTIVE LADDER: THE PORCINE SMALL INTESTINAL SUBMUCOSAL EXTRACELLULAR MATRIX OFFERS A VIABLE REPAIR OPTION FOR SURGICAL DEFECTS AFTER SKIN CANCER EXTIRPATION**
Ally-Khan Somani, M.D., Ph.D, EMBA, FAAD, FACMS, FASDS, FEADV, FESMS
(Department of Dermatology, Division of Dermatologic Surgery and Cutaneous Oncology, Indiana University School of Medicine, U.S.A.)
- ES-3 **OASIS®の役割をどのように位置付けるか —肉芽形成 上皮化 疼痛管理に有用—**
小林 尚史 (帝京大学ちば総合医療センター 形成外科)
- ES-4 **当院における難治性創傷の治療戦略 ～OASIS®の使用経験～**
上原 幸 (大分大学医学部附属病院 形成外科)

共催：クックメディカルジャパン合同会社

第1日目 7月13日(木)

第4会場 コングレスクエア日本橋 3F ホールC

■ 一般演題3

9:00 ~ 9:48

熱傷

座長：松峯 元（東京女子医科大学 形成外科学教室）

OR3-1 液化石油ガスによる凍傷の一例

江川 智昭（日立総合病院）

OR3-2 遊離皮弁による再建後に骨髓炎を来した下腿熱傷に対してiMAPを用いて感染制御をし得た1例

松浪 周平（関西医科大学 総合医療センター）

OR3-3 異なる軟部組織損傷を伴った6600Vの電流による電撃傷2例

大久保 遼平（大阪警察病院 形成再建外科）

OR3-4 大腿切断を要した浴槽での下肢熱傷の2例

柏木 圭介（高知赤十字病院 形成外科）

OR3-5 小児指尖部III度熱傷に対するsorbactを用いた保存的加療の治療経過

相神 なほ（函館五稜郭病院 形成外科）

OR3-6 RECELLの使用経験

辻本 賢樹（聖隷三方原病院 形成外科）

■ 一般演題4

9:50 ~ 10:38

感染1

座長：福田 憲翁（山形大学医学部附属病院 形成外科）

OR4-1 当院で経験した背部感染性粉瘤から壊死性軟部組織感染症に至った4例

最上 裕之（独立行政法人国立病院機構姫路医療センター）

OR4-2 膝関節離断ののちCLAP併用し、二期的に大腿切断した下肢壊死性軟部組織感染症の一例

金井 雅彦（千葉県救急医療センター 形成外科）

OR4-3 救命しえなかったC群溶連菌感染症の1例

金井 雅彦（千葉県救急医療センター 形成外科）

OR4-4 早期手術と高気圧酸素療法の併用で救命・救肢し得た広範囲壊死性軟部組織感染症の1例

矢内 香織（甲南医療センター 形成外科）

OR4-5 保存的加療により救命し得た小児頸部静脈奇形に発生した劇症型溶連菌感染症の1例

松田 識郁（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室）

OR4-6 壊死性筋膜炎の診断、デブリードマン範囲決定に筋膜生検は有用

南方 竜也 (大阪府済生会野江病院 形成外科)

■ 一般演題5

10:40 ~ 11:28

感染2

座長：加藤 久和 (岐阜大学医学部附属病院 形成外科)

OR5-1 急性副鼻腔炎を契機とした眼窩骨膜下膿瘍及び眼窩蜂窩織炎の一例

吉田 英莉子 (大阪医科薬科大学病院 形成外科)

OR5-2 偽関節を伴う手関節部骨髄炎対して血管柄付き肩甲骨を含めた広背筋皮弁による再建を行った1例

宮永 亨 (金沢医科大学 形成外科)

OR5-3 手指屈筋腱滑膜炎治療後に手関節滑膜炎を続発した非結核性抗酸菌症の一例

石河 利広 (大津赤十字病院 形成外科)

OR5-4 サイバーナイフ照射後に放射線性胸骨骨髄炎を生じた1例

都倉 加保里 (富山大学学術研究部医学系 形成再建外科・美容外科)

OR5-5 肝切除後の術後創部感染に対し、皮膚側からのデブリードマンを経て広背筋皮弁で制御し得た1例

村上 英毅 (川崎病院)

OR5-6 腹直筋弁で損傷した右心室を被覆しICUで反復洗浄後に大胸筋弁を追加して治癒できた縦隔炎の1例

鳥山 和宏 (名古屋市立大学医学部 形成外科)

■ ランチョンセミナー4

12:40 ~ 13:40

座長：元村 尚嗣 (大阪公立大学大学院 医学研究科 形成外科学)

LS4 人工真皮による顔面悪性腫瘍の二期的再建
～当院における人工真皮の選択と術式の考案～

吉龍 澄子 (国立病院機構大阪医療センター 形成外科)

共催：アルケア株式会社

■ 一般演題 6

14:20 ~ 15:08

外科的再建 1

座長：吉龍 澄子（国立病院機構大阪医療センター 形成外科）

- OR6-1 51歳女性 再発を繰り返す直腸がん患者に対する会陰部と骨盤腔再建の経験
蔡 顯真（南大阪病院 形成外科）
- OR6-2 仙骨脊索腫切除後に遊離組織移植による骨盤部再建を行い、厳格な術後管理を要した1例
重吉 佑亮（信州大学医学部 形成再建外科学教室）
- OR6-3 異なるアプローチで治療した直腸腔瘻3例の経験
岩本 佑麻（岐阜大学医学部附属病院 形成外科）
- OR6-4 下腹部領域の広範囲腹壁欠損に対する大腿筋膜張筋皮弁・前外側大腿皮弁の連合皮弁を用いた再建方針
正田 晃基（群馬大学医学部附属病院 口腔顎顔面外科講座・形成外科学講座）
- OR6-5 当院における腹腔鏡下尿管摘出術および臍形成術の検討
東仁田 幸恵（帝京大学医学部 形成・口腔顎顔面外科学）
- OR6-6 他科手術において同時に臍再建を行った経験
八木 献（山口大学医学部附属病院 形成外科）

■ 一般演題 7

15:10 ~ 15:58

外科的再建 2

座長：沼尻 敏明（京都府立医科大学 形成外科）

- OR7-1 骨軟部腫瘍切除後欠損に対し若手が習得すべき体幹部有茎皮弁
小松崎 孝（埼玉医科大学国際医療センター 形成外科）
- OR7-2 Transformer LD Flapによる背部癍痕が目立たない乳房再建法
梶川 明義（聖マリアンナ医科大学 形成外科）
- OR7-3 頭頸部先天性色素性母斑キュレタージュ後の追加治療について
増野 晴子（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）
- OR7-4 下口唇全摘に対する第一選択としての知覚付き遊離前外側大腿皮弁術
津下 到（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）
- OR7-5 被髪部内の硬膜露出部に分層植皮を行い異なる経過をたどった2例
政岡 浩輔（神戸大学大学院医学研究科 形成外科学）
- OR7-6 開頭術後頭部皮膚潰瘍における原因人工物のパターンと再建戦略
高須 啓之（山口大学医学部附属病院 形成外科）

外科的再建 3

座長：黒川 正人（熊本赤十字病院 形成外科）

- OR8-1 両側内胸動脈欠損を伴う胸骨骨髓炎に対して、肋間動脈穿通枝を血管茎とした大胸筋弁を用いて再建した1例
安藤 暢浩（千葉大学医学部付属病院 形成外科）
- OR8-2 有茎内側腓腹動脈穿通枝皮弁を用いて膝蓋骨開放骨折を再建した1例
山口 崇之（ビスポーククリニック／福岡大学 医学部 形成外科）
- OR8-3 前腕遠位部外傷を前骨間動脈反回枝穿通枝皮弁で加療した2例
濱田 龍正（岩国医療センター 形成外科）
- OR8-4 遊離橈骨動脈浅掌枝皮弁を用いた指尖部再建の3例
芳原 聖司（大分中村病院 形成外科）
- OR8-5 Oblique triangular flapによる指尖部再建後のPIP関節伸展制限に対する検討
小橋 啓太（山口県立総合医療センター 形成外科／宮崎江南病院 形成外科）
- OR8-6 骨露出を伴う小指指尖部軟部組織損傷に対するUlnar Para-metacarpal Flapによる再建治療の一例
今村 嶺太（名戸ヶ谷病院 形成外科）

第2日目 7月14日(金)

第1会場 コングレスクエア日本橋 2F ホールB

シンポジウム3

9:00 ~ 10:30

熱傷局所治療に対する最近の進歩

司会：松村 一（東京医科大学 形成外科）

SY3-1 熱傷創に対するデブリードマンの最近の進歩

榎村 勉（日本大学医学部 形成外科学系形成外科学分野）

SY3-2 熱傷治療における人工真皮サンドウィッチ法の適応について

原 幸司（東北大学病院 形成外科）

SY3-3 熱傷局所治療—人工皮膚メッシュ拡張デルマトームを使用した patch 植皮について

木村 中（函館中央病院）

SY3-4 自家細胞懸濁液植皮の臨床適用

吉牟田 浩一郎（北九州総合病院 形成外科）

SY3-5 熱傷治療における自家培養表皮と同種培養表皮

坂本 道治（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）

協賛：オリンパステルモバイオマテリアル株式会社／科研製薬株式会社／コスモテック株式会社／株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング／センチュリーメディカル株式会社

ガイドライン委員会企画

10:35 ~ 11:35

司会：橋本 一郎（徳島大学医学部 形成外科学）

鳥山 和宏（名古屋市立大学医学部 形成外科）

明日からの実践に活かす Shared decision making の基本

大坂 和可子（慶應義塾大学 看護医療学部）

特別講演2

11:40 ~ 12:40

司会：多久嶋 亮彦（杏林大学医学部 形成外科）

SL2 崩壊が加速するアメリカ。対米従属でよいのか日本？

茂木 誠（ノンフィクション作家、予備校講師、歴史系 YouTuber）

■ ランチョンセミナー5

12:50～13:50

CLTI患者の足を救う！～新たなアフレスス療法で変わる治療戦略～

座長：山本 直人（自治医科大学附属さいたま医療センター 形成外科）

LS5-1 LDLアフレスス療法を併用したCLTI治療～その有効性と留意点～

関山 琢也（東京西徳洲会病院 形成外科）

LS5-2 「足の疾患センター」におけるCLTI診療の実際～アフレスス療法を活用した地域連携～

藤井 美樹（順天堂大学大学院医学研究科 再生医学／順天堂大学医学部 形成外科学講座／順天堂医院 足の疾患センター）

共催：株式会社カネカメディックス

■ パネルディスカッション2

14:00～15:20

頭頸部癌再建術後の瘻孔治療

司会：中川 雅裕（浜松医科大学 形成外科）

PD2-1 Overcoming Adversity

－頭頸部癌切除再建後の頸部瘻孔に対する皮弁再建例の検討－

岸 慶太（東京慈恵会医科大学 形成外科学講座）

PD2-2 遊離空腸再建後の瘻孔治療

福永 豊（国立がん研究センター東病院 形成外科）

PD2-3 頭頸部再建術後瘻孔に対するトータルアプローチ

小野田 聡（富山大学学術研究部医学系 形成再建外科・美容外科）

PD2-4 頭頸部癌関連術後瘻孔の手術治療～難治例からの教訓～

永松 将吾（広島大学病院 形成外科）

PD2-5 当科における頭頸部癌再建術後瘻孔に対する治療の実際

佐々木 薫（筑波大学 医学医療系 形成外科）

共催：グンゼメディカル株式会社

■ 将来計画委員会企画：レジデントアワードセッション

15:25～17:10

司会：多久嶋 亮彦（杏林大学医学部 形成外科）

RA-1 複数指指尖部デグロージング損傷に対して局所陰圧閉鎖療法を併用した腹壁皮下ポケットで治療した一例

小野 菜生（兵庫県立淡路医療センター）

RA-2 汚染が疑われる眼窩部複合組織損傷に対し、一期的に再建した1例

手口 円花（筑波大学医学医療系 形成外科）

RA-3 止血に難渋した慢性骨髄性白血病を背景とする大腿部巨大皮下血腫の1例

佐藤 航司（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室／医療法人社団養生館 苫小牧日翔病院 形成外科）

- RA-4 頭部人工毛植毛により頭蓋骨壊死を来した1例
吉武 彰子 (筑波大学 医学医療系 形成外科)
- RA-5 演題取り下げ
- RA-6 左足ガス壊疽に対して、OASIS細胞外マトリックス、NPWTid、TCCを併用し歩行機能を維持しながら救肢した一例
森川 周至 (八尾徳洲会総合病院 形成外科)
- RA-7 重症COVID-19感染における右第1趾壊死に対して、oblique triangular flapを用いた再建の一例
羽根 梨花 (千葉大学医学部附属病院 形成・美容外科)
- RA-8 中等度骨髄炎と蜂窩織炎を合併した踵部難治性潰瘍にレオカーナが奏功した一症例
島袋 真人 (国際医療福祉大学病院 形成外科)
- RA-9 肛門管癌会陰部欠損をveno-accompanying artery fasciocutaneous flap併用薄筋皮弁を用いて再建した一例
三柳 友樹 (千葉大学医学部附属病院)
- RA-10 強皮症を背景とした血行再建が困難なCLTI患者に対して集学的治療を行い、大切断を回避した1例
土屋 皓大 (神戸大学大学院医学研究科 形成外科学)
- RA-11 遅発性に広範囲の皮膚壊死を来し、治療に難渋した左下肢交通外傷の一例
南谷 晃誠 (関西電力病院 形成再建外科)

第2日目 7月14日(金)

第2会場 コングレスクエア日本橋 3F ホールD

シンポジウム4

9:00 ~ 10:30

重症下肢虚血の救肢における血行再建・遊離組織移植術

司会：橋本 一郎（徳島大学医学部 形成外科学）

SY4-1 重症下肢虚血の救肢における血管内治療と遊離皮弁移植

石川 昌一（埼玉医科大学 形成外科・美容外科）

SY4-2 EVTと遊離組織移植による下肢救済治療と長期成績

山本 直人（自治医科大学附属さいたま医療センター 形成外科）

SY4-3 重症下肢虚血に対する肩甲下動脈系バイパス皮弁による再建術

梅川 浩平（獨協医科大学 形成外科学）

SY4-4 歩行機能維持を目的とした救肢のための遠位バイパス手術と遊離組織移植術

堀内 勝己（市立札幌病院 下肢救済センター／市立札幌病院 形成外科）

SY4-5 包括的慢性下肢虚血に対する遊離皮弁移植術：
下肢動脈病変の重症度と遊離皮弁サイズの生着への影響

山下 雄太郎（徳島大学医学部 形成外科・美容外科）

SY4-6 包括的高度慢性下肢虚血に対する血管柄付き遊離組織移植術の検討

大浦 紀彦（杏林大学 医学部 形成外科）

共催：ゲディンググループ・ジャパン株式会社

厚労省セッション

10:35 ~ 11:35

司会：松村 一（東京医科大学 形成外科）

日本における医療機器規制の概要と最近の動向

西川 玄希（厚生労働省 医療機器審査管理課）

村上 まどか（厚生労働省 医療機器審査管理課）

ランチョンセミナー6

12:50 ~ 13:50

難治性創傷に対する多血小板血漿療法による新たな治療選択

座長：久道 勝也（下北沢病院）

LS6-1 難治性創傷と多血小板血漿療法について

長谷川 敏男（順天堂大学医学部附属静岡病院 皮膚・アレルギー科）

LS6-2 多血小板血漿ゲルによる創傷治療システムの臨床試験成績について

古川 雅英（大分岡病院 形成外科）

共催：ロート製薬株式会社

症例検討

14:00 ~ 14:40

露出した人工血管

座長：関堂 充（筑波大学 医学医療系 形成外科）

CS-1 両側鼠径部に人工血管露出を認め、治療に難渋した1例

佐藤 秀吉（名古屋市立大学 形成外科）

CS-2 人工血管置換術後の縦隔洞炎に対し大網弁と血管吻合付加腹直筋皮弁の移植術を施行した1例

岡田 恭典（埼玉医科大学 形成外科）

CS-3 人工血管の感染を伴う縦隔炎の治療戦略

春原 誠（東邦大学医療センター大森病院 形成外科）

CS-4 心移植まで抜去できない人工血管（補助人工心臓）の露出に対する手術治療

清家 志円（大阪大学 形成外科）

第5回ヒト羊膜使用組織治癒促進用材料**「エピフィックス (EpiFix)」適正使用講習会**

14:50 ~ 17:50

司会：松村 一（東京医科大学 形成外科）

寺師 浩人（神戸大学 形成外科）

特定生物由来製品の取り扱いについて

秋野 公造（参議院議員）

ヒト羊膜使用組織治癒促進用材料EpiFixの概要と本邦における承認までの経緯

松村 一（東京医科大学 形成外科）

難治性潰瘍の診断・アセスメント方法と治療

田中 里佳（順天堂大学 再生医学・形成外科）

ヒト羊膜使用組織治癒促進用材料EpiFixの使用方法和適応

大浦 紀彦（杏林大学 形成外科）

共催：一般社団法人日本フットケア・足病医学会

第2日目 7月14日(金)

第3会場 コングレスクエア日本橋 2F ホールA

■ パネルディスカッション3-1

9:00 ~ 10:10

リンパ瘻の治療(症例検討)

司会: 門田 英輝 (九州大学病院 形成外科)

PD3-1-1 鼠径部リンパ節郭清後のリンパ嚢胞に対するOK-432による治療経験

生島 健太 (徳島大学病院 形成外科・美容外科)

PD3-1-2 特発性乳び胸水に対して両側胸管結紮後に生じた難治性乳び腹水の1例

前田 拓 (北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室)

PD3-1-3 上腕から頸胸部に広がるリンパ管腫術後の難治性リンパ瘻症例

吉田 聖 (九州大学病院 形成外科)

PD3-1-4 リンパ節郭清術後リンパ瘻症例に対する我々の治療方針

三浦 隆洋 (北海道大学大学院医学研究院 機能再生医学分野 形成外科学教室)

PD3-1-5 リンパ瘻に対する治療とリンパうっ滞の再建

秋田 新介 (千葉大学医学部 形成外科)

■ パネルディスカッション3-2

10:15 ~ 11:35

リンパ瘻の治療

司会: 山本 匠 (国立国際医療研究センター病院 形成外科)

PD3-2-1 術後リンパ漏の治療戦略 - 保存的治療、NPWT、LVAの使い分け -

門田 英輝 (九州大学病院 形成外科)

PD3-2-2 リンパ漏に対する外科治療法のバリエーションと選択

吉田 周平 (広島大学 形成外科・リンパ浮腫センター)

PD3-2-3 さまざまなリンパ漏へのアプローチと早期に介入することの重要性

三井 康平 (三重大学 形成外科)

PD3-2-4 Effectiveness of supramicrosurgical lymphatico-venular anastomosis in treating recurrent lymphatic fistulas: a case series

Paolo Gennaro (Department of Medicine, Surgery and Neuroscience University of Siena, Italy)

PD3-2-5 難治性リンパ漏に対するリンパ外科治療

山本 匠 (国立国際医療研究センター 形成外科)

共催: 三鷹光器株式会社

■ ランチョンセミナー7

12:50 ~ 13:50

再生医療を活用した創傷早期治癒と血管新生 —米国トレンドと新規MSC培養上清液—

座長：大浦 紀彦（杏林大学 形成外科・美容外科）

LS7-1 糖尿病性潰瘍と再生医療 —20年の米国医療との関わりから—

李家 中豪（Cell Exosome Therapeutics株式会社）

LS7-2 新規MSC培養上清液による下肢虚血・創傷治療への期待

南 一成（神戸大学医学研究科 外科系講座形成外科学分野 足病医学部門）

共催：Cell Exosome Therapeutics株式会社

■ 一般演題9

14:00 ~ 14:48

基礎研究・医療材料

座長：菅 浩隆（帝京大学医学部附属溝口病院 形成外科）

OR9-1 閉鎖式陰圧ドレーンにおける陰圧差の3群比較検討

中川路 美雲（愛知県がんセンター 形成外科）

OR9-2 Sorbactコンプレスをを用いた難治性潰瘍治療の経験

匂坂 正信（医療法人匂坂会 サキサカ病院／熊本労災病院循環器内科 足壊疽班）

OR9-3 患者創面から採取した滲出液内でのサイトカインや増殖因子の定量化

大山 拓人（福岡大学医学部 形成外科）

OR9-4 糖尿病マウスにおけるシルクエラスチンとコラーゲンスポンジの創傷治癒促進効果と挙動の比較検討

澤良木 詠一（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）

OR9-5 ラット皮質骨露出創における組織再生を実現した新規スキャフォールド

岡野 純子（滋賀医科大学 形成外科講座）

OR9-6 マウス後肢リンパ浮腫モデルにおける低酸素誘導因子制御と創傷治癒の検討

石川 耕資（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室）

■ 一般演題10

14:50 ~ 15:38

新しい治療法

座長：鳥山 和宏（名古屋市立大学医学部 形成外科）

OR10-1 閉塞性動脈硬化症を合併した難治性糖尿病性足潰瘍に対しエピフィックス®を使用した1例

北川 幹高（東京医科大学 形成外科学分野）

OR10-2 高気圧酸素治療ができない糖尿病性足壊疽に対し体外衝撃波治療が有効であった一例

木股 完仁 (医療法人財団池友会 新小文字病院 形成外科)

OR10-3 外傷後の下腿動静脈瘻に伴う難治性静脈うっ滞性潰瘍に対してハイブリッド治療を用いて治療した症例

野口 美帆 (信州大学医学部 形成再建外科学教室)

OR10-4 食道癌術後に発症した広背筋痙攣に対して胸背神経を切断した1例

七戸 龍司 (手稲溪仁会病院 形成外科)

OR10-5 Raynaud症候群へのVenous Arterialization

吉田 周平 (広島大学 形成外科・リンパ浮腫センター)

OR10-6 脂肪冷却治療法によるdog ear修整の有効性の検討

小島 千怜 (聖マリアンナ医科大学 形成外科)

■ 一般演題 11

15:40 ~ 16:28

陰圧閉鎖療法

座長：加賀谷 優 (埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科)

OR11-1 肋軟骨炎を伴う胸部難治性皮膚潰瘍の創閉鎖にciNPWTが有用であった1例

對馬 佑樹 (弘前大学 形成外科)

OR11-2 帝王切開後の腹腔内感染に対し閉腹後にピンポイント閉鎖式創内持続陰圧洗浄療法で治療した一例

林田 怜子 (久留米大学医学部 形成外科・顎顔面外科)

OR11-3 遊離空腸再建後の空腸食道吻合部離開創に対して陰圧療法が有効であった一例

前田 拓 (北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室)

OR11-4 局所陰圧閉鎖療法のリーク予防にRENASYSジェルパッチ[®]が有用であった頭部皮膚潰瘍の経験

西尾 祐美 (三菱神戸病院 形成外科)

OR11-5 軟部組織感染症に対して、局所高濃度抗菌薬灌流療法 (iSAP) にNPWTを併用して治療した5例

安本 健 (磐田市立総合病院 形成外科)

OR11-6 NPWTi-dの設定値についての統計学的検証

鈴木 良典 (川崎医科大学総合医療センター 形成外科)

第2日目 7月14日(金)

第4会場 コングレスクエア日本橋 3F ホールC

■ 一般演題 12

9:00 ~ 9:48

褥瘡・難治性潰瘍 1

座長：杠 俊介（信州大学医学部 形成再生外科学講座）

OR12-1 カボザンチニブの関与が疑われた足背難治性皮膚潰瘍の治療経験

望月 祐一（市立貝塚病院 形成外科）

OR12-2 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に伴う神経障害を原因とする足部潰瘍の1例

石井 陸（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室）

OR12-3 膠原病性難治性潰瘍に対し交感神経ブロックを行い、組織酸素飽和度カメラで末梢循環の改善を確認し得た1例

青山 尚椰（神戸大学大学院医学研究科 形成外科学）

OR12-4 上肢壊死性筋膜炎を契機にスティール症候群を疑い早期にシャント閉鎖を行った1例

征矢野 遥（東京女子医科大学 形成外科）

OR12-5 手指壊疽により基節骨切断に至った皮膚筋炎の1例

早川 将史（愛知医科大学病院 形成外科／静岡県立静岡がんセンター 再建・形成外科）

OR12-6 潰瘍面積を自動計測するアプリケーション開発と潰瘍改善を示す新しい2つの指標の考案

舘 一史（東北医科薬科大学医学部 形成外科学）

■ 一般演題 13

9:50 ~ 10:38

褥瘡・難治性潰瘍 2

座長：久保 盾貴（大阪大学医学部 形成外科）

OR13-1 スチール症候群により手指壊死を来した20肢の検討

佐山 太郎（獨協医科大学 形成外科・美容外科）

OR13-2 手指壊疽21例の検討

西塚 翔平（獨協医科大学 形成外科・美容外科）

OR13-3 後頸部椎弓形成術後の難治性潰瘍に対してマゴット療法が奏功した一例

坂田 憲亮（久留米大学医学部 形成外科顎顔面外科学講座）

OR13-4 後頭部の感染性骨欠損に対して僧帽筋皮弁を用いて再建した一例

金山 幸司（東京大学医学部 形成外科）

OR13-5 膝部潰瘍3症例の治療経験

碓元 佐和 (鹿児島市立病院 形成外科)

OR13-6 アキレス腱部に生じた難治性潰瘍に対する治療方法の検討

熊澤 憲一 (北里大学医学部 形成外科・美容外科学)

■ 一般演題 14

10:40 ~ 11:28

褥瘡・難治性潰瘍 3

座長：副島 一孝 (日本大学 医学部 形成外科)

OR14-1 マスクの長期間着用により生じた耳介裂創の1症例

早川 将史 (愛知医科大学病院 形成外科/静岡県立静岡がんセンター 再建・形成外科)

OR14-2 指環絞扼症の1例

山内 菜都美 (関西労災病院 形成外科)

OR14-3 硬性コルセットの装着により背部正中部に医療関連機器圧迫創傷をきたした1例

藤田 純美 (東京山手メディカルセンター 形成外科)

OR14-4 仙骨部、両側坐骨部褥瘡に対して同時に皮弁形成術を行った1例

有安 拓巳 (川崎医科大学附属病院 形成外科)

OR14-5 足底潰瘍の治療戦略

木村 知己 (川崎医科大学 形成外科学)

OR14-6 Surgical Offloading (外科的免荷) について

綾部 忍 (八尾徳洲会総合病院 形成外科・あやべ形成外科訪問クリニック)

■ ランチョンセミナー8

12:50 ~ 13:50

座長：岩科 裕己 (杏林大学 医学部 形成外科学教室)

LS8 生活機能と痙縮治療 ～ボツリヌス療法の有用性～

山田 深 (杏林大学 医学部 リハビリテーション医学教室)

共催：帝人ヘルスケア株式会社

■ 一般演題 15

14:00 ~ 14:48

人工物

座長：富田 興一（近畿大学医学部 形成外科学講座）

OR15-1 側弯症術後インプラント露出に対して保存的に創閉鎖した4例

安村 和則（神奈川県立こども医療センター 形成外科）

OR15-2 人工血管内シャント感染20例の検討

古川 航多（獨協医科大学病院 形成外科・美容外科）

OR15-3 ティッシュエキスパンダーを用いた一次乳房再建術後にアトピー性皮膚炎が悪化した3例

佐々木 彩乃（広島大学病院 形成外科）

OR15-4 乳房再建人工物抜去後の経過および整容性から考える、患者ICに必要なこと

小宮 貴子（東京医科大学病院 形成外科）

OR15-5 股関節骨折のために人工骨除去を要した術後顔面骨変形の1例

清家 卓也（徳島赤十字病院 形成外科）

OR15-6 顔面部悪性腫瘍切除後の欠損に対し人工真皮単独で二次治癒させ、良好な結果が得られた5例の検討

谷口 智哉（兵庫県立加古川医療センター 形成外科）

■ 一般演題 16

14:50 ~ 15:38

その他 1

座長：権太 浩一（東北医科薬科大学 形成外科）

OR16-1 胼胝として受診した足底部 Malignant mixed tumor of the skin の1例

佐々木 雄輝（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室）

OR16-2 再発を繰り返し治療に難渋した大腿部 chronic expanding hematoma の1例

宮前 誠（福井大学医学部附属病院 形成外科）

OR16-3 COVID19陽性であった小児の指尖部完全切断再接着の経験

楠原 廣久（近畿大学医学部 形成外科）

OR16-4 転倒による顔面外傷で回避・制限性食物摂取症（ARFID）を来した幼児例

浅井 晶子（JA愛知厚生連 海南病院 形成外科）

OR16-5 当帰四逆加呉茱萸生姜湯が有効と思われた示指虚血性潰瘍の1例

毛山 剛（医療法人薫風会 けやまクリニック 形成外科）

OR16-6 内シャント設置術における側端吻合の一工夫

石崎 力久（函館五稜郭病院 形成外科）

■ 一般演題 17

15:40～16:28

その他 2

座長：大河内 真之（帝京大学 口腔・顎顔面外科学）

OR17-1 広範囲の皮下ポケットを伴う術後腹部離創の1例

坂田 康裕（岸和田徳洲会病院 形成外科／和歌山県立医科大学 形成外科）

OR17-2 重度腹膜炎に対する低侵襲な腹壁再建の1例

宇藤 明（埼玉医科大学病院 形成外科）

OR17-3 48時間以内にFix and Flapを施行したが骨髄炎に至った重度下腿開放骨折の2例

福井 季代子（長崎医療センター 形成外科）

OR17-4 下肢先天性皮膚欠損症の一例

羽多野 隆治（大阪市立総合医療センター）

OR17-5 黒色真菌Exophiala xenobioticaによる手指の皮下膿瘍を起こした一例

野村 健志（大阪府済生会中津病院 形成外科）

OR17-6 頭頸部癌手術後における咽頭皮膚瘻の創管理と創閉鎖の治療経験

宮内 律子（山口県立総合医療センター 形成外科）

ポスター発表

学術集会の配信サイトでのデータ発表・閲覧のみとなります。
(現地での発表・討論はございません。)

- P-1 電撃症による中指PIP関節解放創に対するPerifascial areolar tissue移植術の経験
大島 純弥 (筑波大学 医学医療系 形成外科)
- P-2 併存症で手術困難な足底II度熱傷に、超音波デブリードマンとOASIS細胞外マトリックスでの治療が奏効した1例
小室 明人 (金沢大学 形成外科)
- P-3 熱傷によるアキレス腱露出創に対し人工真皮を用いて良好な結果を得た1例
岩本 承豪 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 形成外科)
- P-4 RENASYS®創傷治療システムとメラアクアシール®を組み合わせた持続陰圧洗浄療法
嶋本 涼 (独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 形成外科)
- P-5 NPWTにペンローズでのドレナージ法を併用して順調に創部閉鎖できた下肢潰瘍について
大木 琴美 (博慈会記念総合病院 形成外科)
- P-6 腓液を排出する腸管皮膚瘻に対しPTCDチューブを通じた希釈洗浄とNPWTによる排液回収が奏功した一例
恋水 諄源 (近江八幡市立総合医療センター 形成外科)
- P-7 カンボジアの日本式病院におけるNPWTを使用した創傷治療経験
林 瑠加 (慶應義塾大学医学部 形成外科)
- P-8 形成外科の立場から考えたEVTの適応と限界
長谷川 美紗 (JA広島総合病院 形成外科)
- P-9 外傷後の下眼瞼癒痕拘縮・外反変形に対し、Imre skin flapで治療した経験
丹代 功 (旭川赤十字病院 形成外科)
- P-10 急性期に自家遊離筋膜移植で修復した外傷性上腰ヘルニアの1例
山城 利文 (防衛医科大学校病院 形成外科)
- P-11 感染制御を主目的とした手内筋膜脂肪弁を併用した手指化膿性関節炎／骨髄炎の再建症例
皆川 知広 (恵祐会札幌病院 形成外科)
- P-12 中手骨頭骨折および中手骨頸部粉碎骨折に対してu-HA/PLLAピンによる逆行性髄内固定法で治療した3例
竹澤 悠介 (石巻赤十字病院)
- P-13 ガラス片による前腕刺創で外傷性後骨間神経麻痺を生じた1例
南保 弥生 (市立砺波総合病院 形成外科)
- P-14 Superb Micro-vascular Imaging (SMI) による集合リンパ管の検出法
菊池 和希 (名戸ヶ谷病院 形成外科)

- P-15 ドレーン排液量は単極型電気メス使用の有無で変わるのか：乳房再建での検討
杉本 佳香（北里大学 医学部 形成外科・美容外科学）
- P-16 非平衡大気圧プラズマとHMGB1による創傷治癒効果の検討
森 秀樹（愛媛大学医学部附属病院 形成外科）
- P-17 孤発軟部悪性腫瘍の症状で発症したB細胞リンパ腫の治療を考える
戸島 康晴（福岡新水巻病院 形成外科）
- P-18 Subtotal integumentectomyを施行した悪性黒色腫の3例
金子 友紀（北里大学 医学部 形成外科・美容外科学）
- P-19 63歳で頭部外傷を契機に血友病Bと診断された成人男性の一例
権藤 理絵（済生会福岡総合病院）
- P-20 坐骨滑液包の手術方法の検討
吉岡 梓（同愛記念病院 形成外科）
- P-21 遊離空腸再建後の重複癌症例におけるホウ素中性子捕捉療法（BNCT）後の咽頭壊死の治療経験
石瀬 久子（兵庫医科大学 形成外科）
- P-22 免疫チェックポイント阻害薬関連血管炎により発症した下腿潰瘍の一例
徐 東経（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室）
- P-23 *Vibrio vulnificus*感染から両下肢壊死性筋膜炎に至った1例
上田 貴之（大阪府済生会 野江病院 形成外科）
- P-24 自家組織による乳房再建術後に生じたMycobacterium mageritense感染症の1例
宮田 夏実（独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 形成外科）